

やさいレポート (令和5年6月号)

きゅうり

発行日：令和5年6月6日

1. 卸売価格の動向

○213 円/kg (6月3日)

➢ 平年比：84%

○6月の価格見通し

平年並みで推移

(農林水産省、東京都中央卸売市場)

2. 小売価格の動向

○472 円/kg (5月全国平均)

➢ 前月比：87%、平年比：112%

➢ 東京：158 円 (3本)

➢ 大阪：53 円 (1本)

○特売店舗数/調査店舗数

➢ 東京：7/20 (前月 8/20)

➢ 大阪：6/10 (前月 5/10)

(機構調べ)

3. 家計消費動向

○240 g/人 (4月全国平均)

➢ 前月比：135%

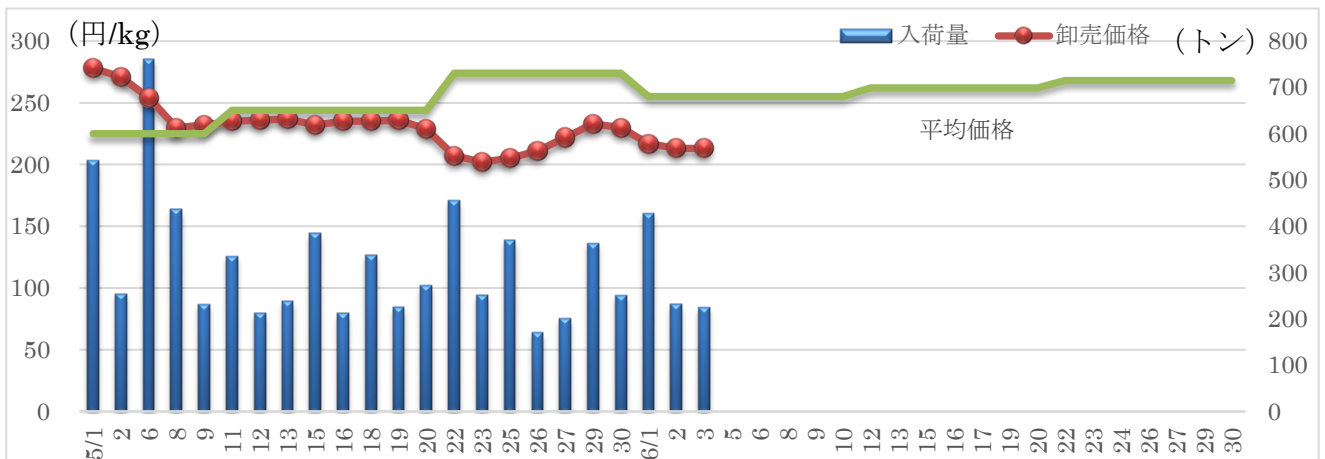
➢ 前年同月比：98%

○2,552 g/人 (2022 年年間)

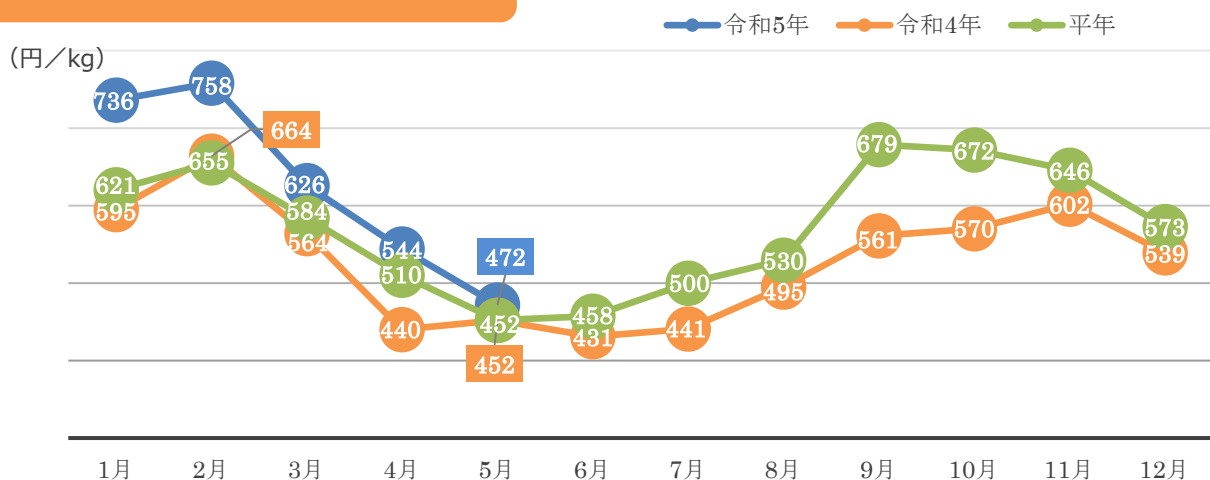
➢ 前年比：94%

(総務省統計局家計調査)

4. きゅうりの卸売価格と入荷量の推移 (東京都中央卸売市場)



5. きゅうりの小売価格の推移



6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
岩手県岩手中央 (6/2)	前年並み	-	やや遅い	-
愛媛県西条市 (5/18)	前年並み	平年並み	平年並み	-

※特記ない場合は平年比。()内は調査日。

(機構調べ)



岩手県岩手中央：ハウス内の様子

7. 向こう1ヶ月の気象情報 (6/03~6/30)

週別の天候				
6/03~6/09	北日本と東日本日本海側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。 東日本太平洋側と西日本では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、前線や湿った空気の影響を受けにくいので、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。			
6/10~6/16	北日本と東日本日本海側では、天気は数日の周期で変わりますが、前線の影響を受けにくいので、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。 東日本太平洋側と西日本では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。			
6/17~6/30	全国的に、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。			
		平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)
北日本	日本海側	低20 並30 高50% 高い見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み
東日本	日本海側	低30 並30 高40% ほぼ平年並の見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み
西日本	日本海側	低30 並40 高30% ほぼ平年並の見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み

(気象庁1カ月予報)

8. 輸入動向 (生鮮きゅうり及びびがキン)

○0 t (4月輸入量)

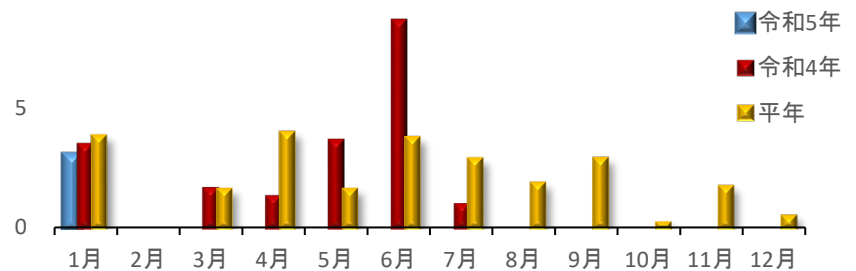
(トン) 10

➢ 前年同月比：-%

○輸入先国ベスト3

輸入実績なし

(財務省貿易統計)



9. 一口メモ

5月は、天候に恵まれて気温高で推移した群馬産、埼玉産などの関東産は、順調な着果、肥大により市場入荷量が徐々に増加してきたことから、平年を上回っていた価格は中旬にはほぼ平年並みに落ち着き、下旬には平年を下回りました。

6月は、群馬産、埼玉産などの関東産に加え、後続の福島産などの東北産の入荷も始まることから、市場入荷量は安定し、価格は平年並みの見込みです。

本データは全てベジ探から入手できます。
詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探 : <https://vegetan.alic.go.jp/>

<問い合わせ先>

農畜産業振興機構

野菜振興部 需給業務課

Tel:03-3583-9793